開通50周年!! 地域と共に走りつづける 湘南モノレール新聞

発行日 令和3年9月
発行責任者 中野島小学校 6年 鈴木耕太郎

「地域の声を聞いてよりよい2020年」全駅バリアフリー化へ

2020年、湘南モノレールは、湘南深沢駅、目白山下駅以外の全16駅がバリアフリー化されました。

2017年、自由研究で湘南モノレールを調べました。その当時、エレベーターやエスカレーターが使えなく、ベビーカーを持った女性は、「とても大変」と話していました。

そんなたくさんの利用客の声で経営がきびしい中、利用客の目線に立って、約20億円をかけ、バリアフリー化へ、力を入れました。

「地域に愛される存在でいたいから」（社員さん）

利用客の声（湘南江の島駅）
「エレベーターがあってよかった」（お年寄りの方）
「楽に気軽に乗れる」（子連れの女性）
「若い男性」「駅がきれいでかっこいい」

大変身!! 湘南江の島駅

2016年12月1日、湘南江の島駅が生まれ変わりました。

エレベーターやエスカレーターが新設され、もっとたくさんの人たちが、もっと楽に、気軽に利用できるようになりました。

さらに、その他の施設も空に近い駅だと安心される展望台や、モノレールの運転を体験できるシミュレーターがあり、みんなが楽しくなる駅へと、大変身しました。

「地域の声を聞いてよりよい2020年」全駅バリアフリー化へ

湘南モノレール開通50周年

祝

湘南モノレールの開通50周年を記念して、式典が行われました。

たくさんの地域の人の想いを乗せて、記念マークをつけた記念号が出発しました。

何年先も、「モノレールがあってよかった」といってもらえるモノレールを目指しています。

地域の声によって実現！なぜそこまでして？ バリアフリー化への道のり

2020年、湘南モノレールは、湘南深沢駅、目白山下駅以外の全16駅がバリアフリー化されました。

2017年、自由研究で湘南モノレールを調べました。その当時、エレベーターやエスカレーターが使えなく、ベビーカーを持った女性は、「とても大変」と話していました。

そんなたくさんの利用客の声で経営がきびしい中、利用客の目線に立って、約20億円をかけ、バリアフリー化へ、力を入れました。

「地域に愛される存在でいたいから」（社員さん）

地域の夢と希望を乗せて走りつづけます

待望の、交通系ICカード道すれ違い

スイカやパスモが使えない路線で知られていた湘南モノレールが、たくさんの利用客の声により、交通系ICカードを導入しました。

駅員さんによると、たくさんの利用客から、「ありがとう」という声があったそうです。

コロナ終息祈願号

コロナウイルスによってたくさん悲しいことがあるけれど、この電車は、地域の人のたくさんの想いを乗せてコロナ禍後の世界へ走りつづけます。

地域の商店街でインタビュー（大船・仲通り商店街）

地域の方にとってモノレールはどんな存在？

〈雑貨屋のおばさん〉
「地域にとって、昔からなくてはならない存在だった」

〈八百屋のおばさん〉
「モノレールに乗るのが小さい頃から楽しみだった」

〈くつ屋のおじいさん〉
「開通したおかげで、商店街にたくさんのお客さんが来てくれた」

絵

OLECOトレインに！

見ている人も乗っている人も絵の世界でみんなが楽しくなれる車両が運行しています。

地元にゆかりのある大仏や、イルカの遊転きさんなど、元気になれるイラストがたくさんえがかれています。

地域を元気に！世界遺産の地

地元にゆかりのある大仏や、イルカの遊転きさんなど、元気になれるイラストがたくさんえがかれています。

編集後記

ぼくは、小さい頃から大好きだった湘南モノレールの新しい魅力に気づけました。

それは、経営がきびしくても、地域の声を聞いて少しずつ実現できていることです。そして、だからたくさんの地域の人に愛され続けているのだと思いました。

湘南モノレールのことを話べられて、本当によかったです。

「地域と盛り上げる」湘南モノレール×地域とのたくさんのコラボ

社長さんは、そう話していました。

湘南モノレールは、自分たちだけではなく、地域とおたがいに発信し、地域を盛り上げています。

モノレール×地域

「空」×「海」江ノ電とのコラボ

モノレールの「空」と江ノ電の「海」。2つの鉄道会社が、江の島で、空から海へ乗りかえられるとポスターではられていて、話しを聞くと、おたがいで江の島の交通を支えていました。ぼくは、観光客が多い地域なので、無客をうばい合う関係なのだと思っていましたが、この2社は、手を取り合って運行していることを知りました。

モノレール×ビール（鎌倉ビール）

モノレール×子供服（PEPE&KIKI）

モノレール×押寿し（大船軒）

空

海